

実施報告書

1 学校名：岐阜県立大垣北高等学校

2 実施内容

授業者等	授業日	平成 14 年 10 月 11 日	学 年	3 年
	授業者	酒 井 猛	教 科	英 語
	校 種	高 校	単 元	Writing(ハロウィーン)
	ねらい	1 校内サーバーに保存したオリジナルの動画（アメリカのハロウィーンの様子）をリスニング教材として活用する。 2 電子メール・チャット特有の略語（Acronyms）を理解する。 3 略語を使った文章を、生徒間・生徒対教員で携帯電話や無料 Web メール（Yahoo!メール・Hotmail）を利用して送信しあう。 4 略語を使った文章を読解し、正しい英文に書き換える。		
授 業 の 流 れ	Warm-Up Conversation 1 JTEとALTがハロウィーンについての会話をし、生徒は 2 人の会話を聞く。 2 会話の途中で、教師は生徒に内容に即した質問をする。			
	Video-Assisted Listening 1 ハロウィーンに関する 3 つの動画を見せながら、JTEとALTが会話をする。 2 生徒はリスニング用ワークシートの問題に答え、全体で答え合わせ。			
	Acronyms & Text Messaging 1 JTEとALTが例を挙げながら略語について、説明をする。 2 略語・記号を使うことの長所短所についてペアで話し合う。 3 ALT が携帯電話を使い JTE にメールを送る。その略語文をクラス全体で解読する。 4 略語一覧のワークシートの中で空欄になっている箇所を、ウェブサイトを開き、埋めていく。（ http://www.gaarde.org/acronyms/ ） 5 教師が全生徒個別に、「ハロウィーンパーティーの招待・返事」に関する 2 通の略語メッセージを同時に電子メールで送る。生徒は略語文を解読し正しい英文に書き換え、その英文を教師にメールで送り返す。ゲーム形式で時間を競う。 6 1 ～ 2 人の生徒の作品を例にとって、ALTによる添削をする。			
	課題の提示 1 本時の感想を、ALT宛てにメールで略語を使った英文で送信する。			
考 察	・英米のハロウィーンの楽しみ方を通して、各国の文化に対する理解を深めることができた。 ・電子メール特有の略語記号を読解・理解し、意味の通る適切な英文に書き換え、コミュニケーションの手段として運用することができた。 ・オリジナルのデジタルコンテンツ（動画）をリスニング教材として効果的に活用することができた。			